

令和3年5月11日

中野区長 酒井直人殿

公明党議員団 幹事長 平山 英明
木村 法一
久保 車香
南 勝彦
白井 秀史
小林 善
甲田百合子
日野 崇



誰もが新型コロナワクチン接種を安心して受けるための緊急要望

新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、国により3度目の緊急事態宣言が発出され、更には今月末までの宣言延長が決定した。そのような中、当区でも5月10日より個別医療機関による75歳以上を対象としたワクチン接種予約が開始をされた。前回の反省を踏まえ、ワクチン接種を待ち望む区民に対して誰もが安心してスムーズに予約から2度の接種が受けられるよう、さらなる体制強化を図る必要がある。

区においては、日々対象となる区民の声に耳を傾け、常に改善を行いながら円滑なワクチン接種を進められることを強く望むとともに、特に高齢者や障がい者等、一刻も早い接種が望まれる方々から我々公明党議員団にお寄せいただいた声を踏まえ、以下の内容の実施を強く求めるものである。

1. 接種会場までの移動が困難な方に対し、医師会や現場の医師との協議をさらに進め、希望する全ての方の訪問接種が可能となる体制を早急に構築すること。
2. 予約電話が繋がらない状況が発生しないよう、現在の受付体制の大幅な拡充を図ること。
3. 高齢者や障がい者で自らの申請が困難な方に対し、アウトリーチ等を活用したサポート体制を構築すること。
4. 高齢者や障がい者世帯の接種については、同時刻でのセット予約を可能とすること。
5. 聴覚障害の方の接種に当たり、会場で手話のみならず筆談ボードでのコミュニケーション等、合理的な配慮を行うこと。
6. 特に75歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯には、さらに分かりやすいチラシの作成配布、および「プッシュ型」のサポート体制を構築すること。
7. ワクチン接種担当部署が機能不全に陥らないよう、専管組織として人員の確保等、全庁的な協力体制のもと十分な行政対応を図ること。
8. 貴重なワクチンを無駄にしないためにも、出来る限り廃棄が生じないように、取組の工夫と配慮を徹底すること。
9. 電話予約や医療機関での申し込みが取れない事例が相次いでいる。6月末までには希望する全ての65歳以上の方に接種可能であるとの事前アナウンスと接種スケジュールを徹底すること。